

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 わかば		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 27日		~ R7年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 24名	(回答者数)	20名
○従業者評価実施期間	R7年 1月 27日		~ R7年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援のプログラムや支援計画の作成には満足いただいている。	様々なプログラムや支援の方法について、職員同士で情報交換をしたり、研修を通じて得た内容を参考に支援を行っている。	偏った支援にならないように、幅広い観点で様々な支援の方法を学ぶ努力をしていきたい。また、支援計画についても、保護者の意見を聞く場をしっかりと設け、反映していきたい。
2	活動の様子がわかるよう、SNS等で発信している。	個人情報の保護に留意しながら、定期的に発信できるように意識している。	普段の様子の様子だけでなく、保護者会や参観等イベントの様子も発信していきたい。
3	活動スペースがしっかりと確保できている。	活動に応じて必要なスペースを確保したり、場合によっては戸外に出るのびのびと活動できるように工夫している。	引き続きプログラム内容に応じた環境や、個々の特性に応じた環境を設定することで、積極的に活動を楽しめるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や他事業所との交流が少ない。	地域向けのイベントについての情報が少ない。	地域のイベントに参加するなど、他事業所の活動に触れる機会やかわりを増やしていきたい。
2	イベントやマニュアルの周知が不足	幼保との連携の中で季節や行事ごとでイベントが重なることが多いため、優先順位がさがり、当事業所のイベント参加率が下がっている。 マニュアルについてはお伝えするタイミングがあまりないのが現状。	年間行事など予めわかっているイベントは事前にお伝えすることで予定を調整いただくなど、参加者誘致に繋がる幼工夫していく。また、親子・きょうだい児向けのイベントや保護者向けの勉強会も行って行きたい。マニュアルについては契約時にお伝えはしているが、保護者に対する認知度が低いので、今後は定期的に周知を図るなどの取り組みが必要だと感じている。
3			